佐賀地本ニュース

平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集

第6号　平成30年3月1日発行

発行所
自衛隊佐賀地方協力本部
募集課広報室
電話　0952-24-2291

部隊見学を通じて自衛隊の魅力を伝える

艦艇の説明に聞き入る参加者

佐賀地本は、1月16日（火）に海自佐世保基地、1月22日（月）に空自築城基地、1月29日（月）に陸自目達原駐屯地において、部隊見学ツアーを行いました。

本見学ツアーは、自衛隊への入隊を予定されている方々を対象とした部隊研修を行うことにより、陸・海・空自衛隊の魅力を伝えるとともに、入隊に伴う不安を解消し、入隊への意欲を高めて頂くことを目的としています。

各基地等において、艦艇、航空機、生活関連施設等の研修や体験喫食、隊員との懇談を行い、自衛隊への理解を更に深めて頂きました。

ボリューム満点の昼ご飯（目達原駐屯地）

フレッシュな隊員との懇談（築城基地）

参加者からは、「実際に研修したことにより、これから自衛隊で頑張ろうという気持ちになりました。」とのうれしい声が聞かれました。

佐賀地本は、今後も入隊予定者の立場に立った部隊見学ツアーの開催を行って参ります。

平和を守り、未来を創る自衛官を目指して

真剣な眼差しで説明を受ける受験生

佐賀地本は、1月27日（土）、目達原駐屯地において、平成29年度第6回自衛官候補生（男子）及び第4回自衛官候補生（女子）採用試験を行いました。

本試験は、2～3年を1任期（2任期目以降は、2年）として勤務する任期制自衛官を採用するものです。

任期間は、自衛官として体力・気力を充実させ、必要な資格を取得することができ、任期満了後は、希望する業種へ再就職したり、また、引き続き、自衛官として勤務することもできます。

受験者は、筆記試験、口述試験及び身体検査に最後まで真剣な表情で取り組んでいました。

受付中の受験生

佐賀地本は、3月3日（土）、5月19日（土）にも自衛官候補生採用試験を行う予定であり、今後も募集・採用業務に全力で取り組んで参ります。

津の里こどもまつりで自衛隊をPR

ジープを興味深く見学するご家族

佐賀地本は、2月25日（日）、小城市牛津町公民館において行われた「津の里こどもまつり」において、広報活動を行いました。

当日は、あいにくの雨模様の天気でしたが、雨の合間には、家族連れを中心とした多くの方々で賑わいました。

車両（ジープ）展示コーナーや広報ブースの制服試着コーナーには、多くの方々に立ち寄って頂きました。

広報用グッズに喜ぶお子さん

ジープの運転席にうれしそうに座った子供たちからは、「かっこいい。」との明るい声が聞かれました。

また、自衛官等募集コーナーには、学生や子供を持つ親御さんが訪れ、募集制度の説明を受けたり、パンフレットを興味深く手に取り、持ち帰られていました。

佐賀地本は、地域の皆様方に自衛隊への親近感をもって頂けるよう、今後も地域イベントに積極的に参加して参ります。

陸上・海上自衛隊への理解を深めて頂く

格闘訓練を研修する参加者
（海田市駐屯地）

佐賀地本は、2月5日（月）から2月7日（水）までの間、広島地区において行われた就職援護協力者の部隊研修に同行しました。

陸自海田市駐屯地においては、格闘及び救急法訓練の研修を通じて、陸上自衛隊の能力の一端について理解を深めて頂きました。

海自江田島・呉基地においては、旧海軍兵学校（通称赤レンガ）からの歴史ある施設、艦艇及び潜水艦の研修を通じて、海上自衛隊の伝統及び海上防衛力の重要性について理解を深めて頂きました。

護衛艦「さみだれ」での記念撮影
（呉基地）

参加者からは、「規律正しく訓練された自衛官を是非雇用したい。」とのうれしい声が聞かれました。

佐賀地本は、今後も企業の皆様方に退職自衛官の有用性及び就職援護に対する理解を深めて頂けるよう努めて参ります。

車両事故防止の徹底を図る

学科試験に“悪戦苦闘中”の部員

佐賀地本は、車両事故防止の徹底を図るため、交通規則等の理解度を確認する学科試験及び実地での運転を確認する路上試験を行いました。

学科試験では、交通規則及び危険予測についての問題を出題し、一部の設問については、知っているはずなのに思い出すことができず、受験した部員が回答に悩む姿も見られました。

路上試験では、部員の中から車両操縦技能の高い者を判定官として指定し、車両に同乗のもと、受験者に対して基礎的な操縦技能や知識についての指導を行いました。

路上試験中の部員

受験した部員は、初心にかえり、真剣な眼差しで、喚呼操縦を始め、車両操縦に関する識能の向上に取り組みました。

佐賀地本は、今後も交通安全に関する意識を高め、車両事故防止の徹底に取り組むとともに、思いやり運転を心がけて参ります。

熱か風

広報官の熱い思いが実を結ぶ時

武雄地域事務所長
1等空尉　原　清

広報官が担任の先生に自衛隊採用試験合格を伝えた際の「やったー。」と喜ぶ声を聞いた時、そして、志願者にその合格を伝えた際、嬉しくて涙ぐむ姿を見る度に、地域事務所長として隊員の募集に携われたことへの喜びを感じます。

広報官は、年度初めから学校等の訪問を開始し、夏の暑い時期に、いよいよ募集活動が本番を迎えます。

そこで、広報官は、自衛隊を志願してみようと思っている方々に、これまでの自己の経験を最大限に活かして向き合い、最良のアドバイスを行います。

最初は、遠慮がちに会話をしていた志願者も徐々に広報官を信頼し、秋の採用試験が始まる頃には、自分のことを一番に思ってくれる存在として、様々な質問、悩み、心配事を相談してくれるようになります。

広報官は、自衛隊を志願して頂いた全ての方々に、自衛官としてのやりがいを伝え、安心して入隊して頂きたいという思いをもって、志願者の質問等に一つ一つ丁寧に対応し、不安の解消に努めて参りました。

合格発表も終わり、間もなく、桜の咲く季節を迎え、この佐賀の地で生まれ育った若者たちが、立派な自衛官となるべく、陸・海・空自衛隊の各教育隊や学校へと旅立とうとしています。

地域事務所長として、広報官のこれまでの熱い思いを結実させるとともに、更なる隊員募集に向って、所員一同、精進して参ります。

唐津

地域の方々とともに

唐津出張所は、1月31日（水）、唐津出張所周辺において清掃活動を行いました。

唐津出張所は、国道204号線（唐津バイパス）に面しており、側道は、付近の小・中・高校生の通学路になっています。

所員一同、通学する学生や周辺の皆様方の気持ちが明るくなればとの思いから、心を込めて清掃活動を行いました。

出張所横の側道を清掃する所員

唐津地区には、陸・海・空自衛隊の部隊が所在していないため、我々が少しでも地域のために活動することにより、自衛隊への関心を持って頂くとともに、唐津出身の若者が入隊し、我々の仲間になってくれればと思っています。

唐津出張所は、今後も定期的に清掃活動を行い、地域に貢献して参ります。

道路脇の階段を清掃する所員

武雄

部隊見学を通じて入隊前の不安を解消

武雄地域事務所は、1月29日（月）、目達原駐屯地において行われた部隊見学ツアーに同行しました。

本見学ツアーは、自衛隊への入隊を予定されている方々に、入隊前の不安を解消して頂くための一助として行っています。

参加された入隊予定者の方々の関心が高かったのは、実際に隊員が生活している居住区画等の生活関連施設の研修で、参加者各人が入隊してからの生活をイメージしながら、興味深く説明を聞く姿が見られました。

将来の生活スペースを研修する参加者

また、隊員との懇談では、参加者からの多くの質問に対する丁寧な応答があり、参加者からは、「未知の不安がありましたが、部隊見学ツアーに参加して、良く分からなかったことを実際に確認することができ、参考になりました。」との感想が聞かれました。

武雄地域事務所は、今後も入隊予定者の立場に立った活動を行って参ります。

フレッシュな隊員と懇談する参加者

鳥栖

陸上・海上自衛隊への理解を深めて頂く

鳥栖地域事務所は、2月8日（木）から2月9日（金）までの間、陸自大村・竹松駐屯地及び海自佐世保基地における神埼市防衛協会の研修を同行支援しました。

本部隊研修は、装備品等の研修により防衛に関する理解を深めるとともに地元出身隊員を激励することを目的として行われています。

研修先の大村駐屯地では、立花士長（千代田町出身）、牟田市長（神埼町出身）の2名の隊員が懇談に参加し、近況報告の後、参加した各会員から、「地元代表として頑張って貰いたい。」と、今後益々の活躍を期待されていました。

地元出身隊員（写真中央）との記念撮影（大村駐屯地）

また、陸自竹松駐屯地及び護衛艦「しまかぜ」においても、丁寧な説明を受け、防衛に関する理解を深めて頂くことが出来ました。

鳥栖地域事務所は、今後も各種研修を通じて、自衛隊の広報活動を行って参ります。

装備品説明を受けた後の記念撮影（護衛艦「しまかぜ」）

佐賀

総合訓練中の幹部候補生を激励

佐賀募集案内所は、2月19日（月）、多久工業団地周辺において、佐賀県中部地区自衛隊家族会が行った徒歩行進訓練中の一般幹部候補生約280名に対する激励に同行しました。

本行進訓練は、幹部候補生としての卒業試験とも言われる厳しい総合訓練の一部であり、約20kgの装具を背負い、佐賀県小城市から嬉野市までの約100kmの距離を3日間で踏破します。

この後、大野原演習場において、各種の戦闘訓練を行います。

このような過酷な訓練に取り組む幹部候補生に対し、隊員に最も身近な存在である佐賀県中部地区自衛隊家族会は、毎年激励を行っております。

激励を受けながら行進する幹部候補生

幹部候補生たちは、家族会会員からの「頑張って」、「ご苦労様」という声援を受けながら、意気揚々と目的地を目指しました。

佐賀募集案内所は、今後も自衛隊家族会の行う活動への協力に努めて参ります。

幹部候補生を激励する家族会会員

採　用　案　内

募集種目		応募資格（学歴・年齢）	受付期間	試験日
自衛官候補生		18歳以上 27歳未満の者	年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。
			※女子については、お問い合わせ下さい。	
幹部候補生	一般（大卒程度）	22歳以上26歳未満の者（20歳以上22歳未満の者は大卒（見込含）、修士課程修了者等（見込含）は28歳未満の者）	3月1日 ～5月1日	1次試験 5月12日～13日 2次試験 6月12日～15日 ※海・空飛行要員のみ 3次試験（海） 7月9日～13日 3次試験（空） 7月14日～8月2日
	一般（院卒者）	20歳以上28歳未満の者 修士課程修了者等（見込含）		
	歯科・薬剤科	専門の大卒（見込含） 20歳以上30歳未満の者（薬剤科は20歳以上28歳未満の者）		1次試験 5月12日 2次試験 6月12日～15日
医科・歯科幹部		医師・歯科医師の免許取得者	2月1日 ～4月20日	5月11日
一般曹候補生		18歳以上27歳未満の者	3月1日 ～5月1日	1次試験 5月26日 2次試験 6月27日～7月2日 ※いずれか1日が指定されます。
予備自衛官補	一般	18歳以上34歳未満の者	1月9日 ～4月6日	4月14日～18日 ※いずれか1日を指定されます。
	技能	18歳以上で国家免許資格等を有する者（資格により年齢の上限があります。）		

平和を守り、未来を創る

陸・海・空自衛官候補生募集

入隊と同時に「自衛官候補生」に任命され、3か月後に2等陸・海・空士（任期制自衛官）に任用されます。
■2等陸・海・空士任用後は、陸上自衛隊は1年9か月、 海上・航空自衛隊は2年9か月の任期制コースとなります。

自衛隊はあなたの能力を必ず活かせる場所

第6師団司令部付隊 管理小隊 1等陸士
照井 真美

母子家庭で、母の苦労を見て育ったため「大切な人を守れる強い人間になりたい」と強く思うようになりました。責任力や精神力も身につく自衛隊が適職だと思い入隊しました。現在私は所属している管理小隊で衣・食・住の支援や管理を行い、隊員の任務のサポートも行っています。自衛隊の職種は多岐にわたるため、あなたが輝く職種が必ずあります。国や国民のためにできることをしたい人は是非自衛隊へ来てください。

さまざまな国家資格取得のチャンスがある

中部航空警戒管制団 中部防空管制群 警戒通信隊 1等空士
水上 滉太

自衛隊が災害派遣で活躍する姿をテレビや新聞で見て、「自分も人のためになる仕事がしたい」と思い入隊を決意しました。任期制自衛官は任期に応じて任期満了退職金を受け取れます。さらに、さまざまな国家資格を取る機会があるのも魅力です。現在は、電波や通信のやり取りを通して日本の領空を守るのが主な任務です。常に「自分たちがいなければ日本の空は守れない」という責任感を持って取り組んでいます。

一番のやりがいはみんなが喜んでくれること

館山航空基地隊 厚生隊 給養班 海士長
川田 愛

私は進路に悩んでいた頃、自衛隊の説明会に参加したのがきっかけで入隊しました。任期制の魅力は、新たな進路を目指すなど、さまざまな選択が可能な所だと思います。現在は給養班に所属し、隊員の生命の源である食事を作っています。喜びを感じるのは、食べた人からおいしいと言ってもらえる瞬間。おいしい物を食べると不思議と笑顔になりますが、そんな笑顔であふれる食堂を目指して頑張っています。

詳細につきましては、ホームページをご覧になるか、最寄りの地域事務所等へお問い合わせ下さい。